

松翠深く蒼浪遙けき豆子より

泉鏡花

青空文庫



櫻山さくらやまに夏なつうぐひす鶯ね音いを入いれつゝ、岩いは殿どの寺でらの青あを葉ばに目め白しろ鳴なく。なつかしや御み堂だうの松しょう  
 翠すゐ愈い々よく深ふかく、鳴なき鶴つるヶ崎さきの浪なみ蒼あをくして、新しん宿じゆくの濱はま、羅まうすの雪ゆきを敷しく。そよくと風かぜ  
 の渡わたる處ところ、日ひ盛ぎりも蛙かはづの聲こゑ高たからかなり。夕ゆふ涼すずみには脚あしの赤あかき蟹かにも出いで、目めの光ひかる鮓たこも顯あらは  
 る。撫な子でしこはまだ早はやし。山やま百ひゃく合ごは香かを留とめつ。月つき見み草さうは露つゆながら多おほくは別べつ莊さうに圍かこはれ  
 たり。野のの花はなは少すくなけれど、よし蘆あしがき垣かゐ見まを咎とがむるものなきが嬉うれし。  
 田た越こえの蘆あし間まの星ほしの空そら、池いけ田だの里さとの小こ雨さめの螢ほたる、いづれも名めい所しよに數かずへなん。魚さかなは小こ鱒あもつと最もも  
 佳よし、野や郎らうの口くちよりをかしいが、南かほ瓜ちやの味あぢ拔はつ群ぐん也なり。近ちか頃ころ土と地ちの名めい物ぶつに浪なみ子こ饅まん頭ちゆう  
 と云いふものあり。此こゝ處ちの中ちゆう學がくあたるの若わか殿とのぼら輩ばいに、をかしき其そのわけ知しらせぬが可よかるべ  
 し、と思おもふこそ尚なほをかしけれ。

大正四年七月



# 青空文庫情報

底本：「鏡花全集 卷二十八」岩波書店

1942（昭和17）11月30日第1刷発行

1988（昭和63）12月2日第3刷発行

※題名の下にあつた年代の注を、最後に移しました。

※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ヶ」（区点番号586）を、大振りにつくっています。

入力：門田裕志

校正：米田進

2002年4月24日作成

2003年5月18日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 松翠深く蒼浪遙けき逗子より

泉鏡花

2020年 7月17日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>